

ふじさん

fujijoho group monthly magazine

富士情報

～ 2019年指針 ～
Chance Challenge
Change with Vision.

[今月のひとこと]

硬直化

- にぎやかに新年会
- 健康づくり講演会を開催
- 情報処理技術者試験合格者



「雪の新名庄川」 忍野村・お宮橋

写真提供：忍野村 観光産業課



硬直化

社長 渡辺直企

厚生労働省の「毎月勤労統計」の不適切調査、野田市の小4少女虐待死、明石市長の暴言、最近の事件それぞれ違って見えますが、これらに潜む共通点について考えてみました。

すべての事件に関して業務の硬直化が大きな要因となっていると思います。業務は当初創設者によって、仕事の目的や価値を満たすような形で設計されます。創設時にすべての要件を想定することは不可能で、一般的には実際に業務を進めながら想定外の事象に柔軟に対応していきます。この結果、業務の品質や生産性が向上し、業務そのものが成熟していきます。業務が成熟すると、想定外の事情がほぼ無くなってしまい、今の仕事が最適であると認識してしまいます。そして、何世代も担当を引き継がれて行くうちに創設時の考え方が忘れ去られてしまい、マニュアル化した形式的な表面的な理解しかできていません。いわゆる保守的、官僚的な状況と言えます。この状況が続くと本質的な目的よりも保身、所属する組織を優先する傾向が出てきます。このような状態になった時に想定外の問題が発生し、ストレスがかかると危険度が増します。想定外の課題が発生した場合には本来の目的に立ち戻り、時にはコストをかけてルールを見直す必要があります。しかし、業務が成熟してくると硬直化し手を加えるのが難しくなり、本来の目的も受け継がれず当面の問題に対する対処療法しかできなくなってしまいます。このような状態でも危機感があればまだ良いのですが、危機感が多少あったとしても人には正常性バイアスがあり、多少の危機が近づいても「自分は大丈夫」「今回は大丈夫」「まだ大丈夫」などと過小評価するなどして結局大きな危機を招いてしまいます。当事者は表面的な経験とルールに従い良かれと考え、判断しているケースが多いので非常に対応が困難です。

厚生労働省の統計では、予算を削られ少ない担当官で多くの業務をこなさなければならなくなりました。このようなストレスの下、本来なら手順を踏んで調査方法を変えるべきところでしたが、直接全数調査から安易に手間のかからない郵送で1/3抽出という形の変えてしまいました。そのうえ部分抽出を統計的に優位な形で反映しなければならないところを、間違えた形で統計数字を出してしまい、結果として大きな問題となってしまいました。

野田市の小4少女虐待死においては、児童相談所が少女を保護し、虐待を認識していたのにも関わらず、2度目の保護の後父親のもとに少女を戻してしまい悲劇になりました。児童相談所は多くの事案を抱え常にストレスがかかった状態で、今回の父親のように狡猾な対応をされた際に正常な判断ができなかったのだと思います。

明石市役所の立ち退き担当者は、最後に残った地権者に対してタフな交渉、時には組織的に交渉をしていく事を期待されています。しかし、歴代の担当者はこのようなストレスの大きい課題に対して、実効的な交渉をすること無しに時間だけが過ぎ、危険な交差点の工事が滞ってしまいました。この状況を何とかしようとする明石市市長の叱責が暴言問題となり市長辞任に繋がりました。

最近続出している、歴史、実績のある企業の不正の多くはこのような原因があると思います。硬直化してしまった業務を根本から変えるためには創設時に設計したとき以上の知識、知恵、労力が必要になります。日頃から自分の仕事に求められている価値、良識などを常に意識し本質に立ち戻ることが重要だと考えています。

にぎやかに新年会

1月25日(金)に八王子の「GLOVE」で新年会を実施しました。

初めに渡辺社長から2018年度の業績と2019年指針である「Chance Challenge Change With Vision」についてのお話があり、小坂専務の乾杯により会が開始されました。4月の入社予定の内定者も招待され、それぞれ意気込みと抱負を発表していただきました。

毎年恒例のビンゴ大会では1等のヘッドスパや丸久からいただいたお肉をはじめ様々な豪華景品がありました。私は残念ながら景品を獲得することができませんでしたが、そんな様子を見かねた藤江さんからビンゴで当たった景品のバラの造花を譲っていただきました。「これを使って帰

り道に女性に声をかけて“Chance Challenge Change With Vision”を実践してこい」とのお言葉をいただきました。せっかくだいた Chance?でしたが Challenge の結果が芳しくなく Change まで行きつくことはできませんでした。

今後は物に頼るのではなく自身の課題を発見(Chance)して克服する(Challenge)ことで変わっていきよう努力しようと思います。

最後は藤江さんの「エイエイオー」で閉めていただき、例年に比べて参加者が多いということもあり、大いに盛り上がった新年会でした。

(システム第5グループ 金澤 吉光)



健康づくり講演会を開催

2月6日、エントリー1、2課を対象に山梨県体育協会の高根友典先生を講師に迎え「座ってできる腰痛肩こり予防体操」と題して健康づくり講演会を開催しました。

体中の筋肉はつながっているの、指を使いすぎると前腕の筋肉がこり、それが原因で肩コ



りになることがあります、肩コリが腰痛の原因になることもある。

前腕や上腕、肩等を優しくマッサージすることによりコリをほぐすことができるが、効果は持続しな

いので気付いたときごとに実施する必要がある。

ストレッチは呼吸を止めずに、ゆっくりやさしく行い、痛みを感じる方には曲げないことなど、実践を交えながらお話しいただきました。

○情報処理技術者試験合格者

平成30年度の秋期情報処理技術者試験で高橋昌裕さん(システム・第5グループ)が応用情報技術者に合格しました。

今月の表紙

～雪の新名庄川～

忍野村には富士山の撮影スポットがたくさんあります。新名庄川のお宮橋付近からの富士は絶景で、季節を問わず多くの観光客が訪れます。お宮橋から前後100メートルほどには桜(ソメイヨシノ)の並木があり、満開の頃には撮影の人などでたいへん賑わいます。

獲得しよう！“MVP賞”



今年も丸久は「プロ代理店・MVP賞」の獲得に向けて一丸となって取り組んでおります。3月31日まで富士情報グループ社員の「保険新規取得キャンペーン」を行いますので、皆様のご協力をお願いいたします。保険種目は問いませんが、次のような方がおられましたら是非ご紹介ください。

- 自動車の購入を検討中の方
- 自動車保険の見直しを検討中の方
- 生命保険の見直しを検討中の方
- 友人、知人で戸建てを検討中の方

丸 久

電話：0555-24-2341 メール：marukyu@ag.sjnk.co.jp



私の趣味
No.473

ENJOY GOLF

小 出 あゆみ

ここ数年でゴルフをする機会が増えてきました。趣味は？と聞かれると、以前は「スポーツクラブ通い」で、その後に「マラソン」に変わり、今は「ゴルフ」です。

スポーツクラブのフィットネスやマラソンはストレス発散ができる楽しい趣味ですが、どちらかというとなんとなく一人で楽しむイメージでした。ゴルフは4人（少なくとも2人で）が集まるので自然と仲間ができます。スポーツクラブのゴルフレッスンで知り合った女性たちと友達となり、またその友達からの声かけで「ゴルフ友」の輪が広がりました。ゴルフレッスンは辞めてしまいましたが、「ゴルフ友」たちと「女子ゴルフ部」を作って定期的にラウンドしています。

ゴルフはおじさんのスポーツというイメージで、特に女性は敬遠されている方も多いかもしれませんが、最近は若者や女性も多いです。老舗のゴルフ場は、おじさんのスポーツ感が強くまだまだ敷居が高いところですが、若者も女性も気軽に行けるゴルフ場が増えていきます。

ゴルフを始めた頃は、スイングしてもボールが上がらずゴロゴロと地面を転がってばかりで苦戦し、周りに迷惑をかけないように打っては走り、打っては走りの繰り返しでした。そんな私もゴルフが上手な先輩方と練習場に通ったりラウンドしたりするうちに、走り回ることが減りました。クラブの番手（ドライバー・ウッド・アイアンなど）を使い分けることができると、ますます楽しくなりました。最近はラウンド中に「一打目はあそこに打ちたい」「その次は池を避けたいからあのあたりに打ちたい」などとスコアマネジメントもします。と言っても思ったとおりに打てないことばかりですが、考え悩んだりするのも楽しく、すっかりゴルフの魅力にはまっています。

先日、会社のゴルフコンペに参加しました。スコアは置いておいて（笑）、とても天候に恵まれて冬でもポカポカ陽気で楽しくラウンドできました。これからもゴルフを続けて、長く楽しめる趣味にしていきたいです。

（SOMPOビジネスサービス株式会社 事務サービス支援部 DOCR事務課 課長）

